



2019年7月22日 (月)

NO. 980号

本号3頁

改憲勢力、3分の2割れ! しかし、与党が過半数確保

引き続き、改憲阻止に向けたたたかいに全力を!

第25回参院選の結果、自民、公明、日本維新の会などの「改憲勢力」の獲得議席は81議席で、非改選と合わせて国会発議に必要な85議席を得られず、3分の2を割り込みました。しかし、自民は改選議席より大きく議席減らしたものの、自民・公明で71議席。安倍首相が目標とした「非改選も含めた与党過半数」を達成しました。1人区32選挙区の野党統一候補では10選挙区で勝利し、前回3年前の11勝を1選挙区下回りました。

このように、参議院での改憲派の3分の2体制を崩すことができました、しかし、与党を過半数を確保し、安倍政権を退陣に追い込むことはできませんでした。安倍首相は自ら掲げた目標が達成され、選挙での争点とした「憲法改正が指示された」と改憲に邁進することが予想されます。また、維新の会の松井代表は選挙期間中に憲法審査会の運営について「自民党がリーダーシップを取って憲法審査会を開けばいい」と発言しており、今後いっそう改憲の動きが強まることが予想されます。

憲法会議は市民の共同、市民と野党の共闘を力に改憲阻止に向けて引き続き奮闘します。

	選挙区	比例区	合計	改選	非改選
自民	38	19	57	66	56
公明	7	7	14	11	14
維新の会	5	5	10	7	6
計			81	81	76※1
立憲民主	9	8	17	9	15
国民民主	3	3	6	8	15
共産党	3	4	7	8	6
社民	0	1	1	1	1
れいわ	0	2	2	1	0
無所属(野)	9	0	9	0	0
計			42		37
諸会派※2	0	1	1	2	0
無所属	0	0	0	4	8
合計	74	50	124		121

開票後等の 改憲に対する発言

<安倍首相>

開票後、2020年新憲法施行を目指す改憲について「期限ありきではないが、私の任期中に何とかしたい」と意欲を表明。

<公明党山口代表>

引き続き慎重な姿勢で臨む方向。「憲法は争点として熟度は低い」と街頭演説では触れず。開票後は、「国民の理解を伴う、冷静な議論が必要」と答えた。

※1 改憲賛成の与党無所属議員3議席ありで、79議席

※2 NHKから国民を守る党

今度は大津市で5人ほどのスーツ姿の警察官に囲まれる！

前号で取り上げましたが、15日の札幌市のJR札幌駅前で、安倍首相演説時にヤジを飛ばした市民が排除されましたが、今度は大津市のJR大津京前で18日、参院選の自民党公認候補の応援演説をしている安倍首相にヤジを飛ばす男性を、警備の警察官らが会場後方で囲んで動けなくする事件が発生しました。

この18日、安倍首相は午後5時過ぎ、JR大津京駅前にとめられた選挙カーの上で応援演説を始めました。男性は、首相の演説開始前からヤジを飛ばしており、5人ほどのスーツ姿の警察官によって、会場端の駅高架下のフェンスに押しやられました。男性はこのときも「安倍辞めろ」などと声を上げ、動こうとしましたが囲んだ警察官らに止められました。

滋賀県警の広報は18日午後7時前、マスコミの取材に「(大津京での事案は)聞いていない」と話しています。

「表現の自由を著しく損なう」と申し入れ

「国民の批判を弾圧するなら独裁国家だ」。社民党の福島瑞穂副党首は18日、神奈川県内で取材に対し道警の対応を批判しました。立憲民主党道連は同日、道警に「表現の自由を著しく損なう」として再発防止を申し入れました。国民民主党の玉木代表も17日に「権力は極めて抑制的に行使しなければいけないというのが大原則」と述べています。

公選法は演説の妨害を禁じていますが、「一般的には暴行か威力を加えたもの」(総務省選挙課)との解釈で、「今回は適用は難しい」との見方が強まっています。自民ベテラン議員も「首相に対する(道警の)忖度が働いたのかもしれないが、明らかにやり過ぎ」と指摘します。

首相はこれまで、道警の対応に言及していません。西村康稔官房副長官は18日の記者会見で、今回の対応に関する評価を避けた上で「警察の活動は不偏不党を旨として行われるべきだ」と述べるにとどめています。

米国がイランの無人機を撃墜、緊張高まる！

「ホルムズ警護・有志連合」説明会を19日開催

トランプ米大統領は18日、中東のホルムズ海峡で米海軍の強襲揚陸艦ボクサーが同日、イランのドローン(無人機)を撃墜した、と明らかにし、「再三の警告を無視し、(米艦船まで)約900メートルまで接近したドローンに防衛措置を取った。ドローンはすぐに破壊された」と説明しました。

このようにイランとの緊張が高まる下で、米国は中東のイランとイエメン沖で民間船舶の防衛のために米国が結成を目指している有志連合の構想について、19日に関係国の外交官に対して説明を行いました。日本も参加しています。この間、米國務省のフック・イラン担当特別代表は、原油輸送の要衝となっているイラン沖の「ホルムズ海峡を通過する原油の大半はアジアに向けられたものだ」と述べ、米国以外の関係国の参加によって取り組みを国際的なものにする必要性を強調しています。

なお、次期国防長官に指名されているエスパー陸軍長官は同日、上院軍事委員会の指名承認公聴会で、有志連合について民間船舶の護衛と海上監視を行うことで、「(イランの)挑発行為と誤算が抑止できるよう」に結成するものだとして述べています。

前号で各政党の対応を紹介しましたが、多くの政党は現在の「海賊対処法を使うのは無理だ」として、「どうしてもということなら新しい法律だ」としていますが、それで良いのでしょうか。日本共産党が主張していた「自衛隊は参加すべきでない」「米国に核合意に戻るよう求めることだ」ではないのでしょうか。

安倍首相は開票後の会見で、「米国の考え方をよく聞きたい。同時に、イランには訪問もし、良好な関係をつないでいる。ホルムズ海峡が波静かとなるように日本の役割をはたして行きたい」と述べています。

海自護衛艦、米空母と作戦行動

一方で、空母化が計画されている海上自衛隊のヘリコプター搭載型護衛艦「いずも」と米原子力空母ロナルド・レーガンが6月、米中間の緊張が高まる南シナ海で共同訓練をしました。海上自衛

隊の報道発表によると「いずも」とレーガンが南シナ海で共同訓練を実施したのは6月10～12日と19～20日の2回です。

「いずも」は同型艦「かが」とともに安倍政権が短距離離陸垂直着陸型のF35Bステルス戦闘機を運用できる「空母」化を計画。陸上自衛隊部隊を輸送して強襲揚陸艦としても運用可能な海自最大の護衛艦です。

レーガンは11隻の米海軍原子力空母のうち唯一、米国外の横須賀基地に配備されています。横須賀を拠点に、インド・太平洋地域での作戦行動を実施。他国との共同展開、多国間演習、部隊レベルの訓練などの実施を目的とした今年の作戦行動のため5月22日、横須賀基地を出港しました。今回の「訓練」は、「共通の海洋安全保障上の優先事項への対処や海上での相互運用性の強化のため」に通信能力の検証や戦闘に備えた陣形を組む訓練などを実施しました。日米それぞれのホームページには、並走するレーガンと「いずも」や、レーガン搭載のヘリが「いずも」に着艦した写真などが掲載されました。



レーガンの艦長は「われわれが、パートナーの海上自衛隊と海で訓練し作戦した時間はきわめて貴重だった」「われわれの同盟はかつてないほど強固であり、今まさにこの地域でかつてないほどより重要になっている」と強調しました。

このように、戦争法を強行した自民党が参院選の公約で「自衛隊明記」の憲法9条改憲をかかげ、トランプ米大統領が「日米安保条約は不公平な合意」として、安倍自公政権にさらなる軍事分担を迫っています。米国が起こす戦争に自衛隊が参戦する危険性が現実を高まっています。

各地のとくみ

茨城・石岡 憲法シール投票 8割が「9条改正反対」

茨城県の石岡平和の会は6月19日、石岡駅前では憲法9条について聞くシール投票を実施しました。

投票は、①憲法9条改正に反対、②改正を急ぐ必要はない、③改正すべき、の3択方式。「9条を知らない」という人には、条文を示して解説しました。応じた39人のうち、8割が9条改正反対の①に投票しました。「平和が一番大切」と言っただけでシール投票に応じる高校生もいました。

シール投票は昨年7月に2回実施したのに続き、今回で3回目となりました。累計で145人が応じ、74%が①に投票しました。多くの若者の関心を引こうと毎回工夫を重ね、今回はテレビ番組で人気キャラクターのシールを投票に使用し、高校生からも好評でした。今後、9条に関してわかりやすく学べるチラシの作成を検討しています。

<平和新聞 7月15日号より>

静岡・掛川南 道路沿いに「安倍9条改憲NO!」の大看板

掛川南生活と健康を守る会もメンバーの一員となっている「憲法9条を守る掛川市民アクション」は、掛川市内の南部地域の車の交通量が多い道路沿いに大看板を設置。「憲法擁護・改憲ノー」をアピールしています。

今年5月3日にあった「憲法フェスタ」で参加者にシール投票で看板に書くスローガンを選んでもらい、制作しました。設置費用は参加者からのカンパも活用しました。

市民アクションは1年半前に結成され、毎月19日にはJR掛川駅前、「安倍9条改憲NO!」の一点で手をつなぎ、3000万人署名に思いを託そうと署名活動を繰り返しています。

定例の19日行動には、掛川南生健会からも毎回5～6人が参加。ビラを配布し、ハンドマイクで訴えています。

<生活と健康を守る新聞 7月21日号より>



掛川の看板は残念見つからず
写真は長野で見つけた看板！